

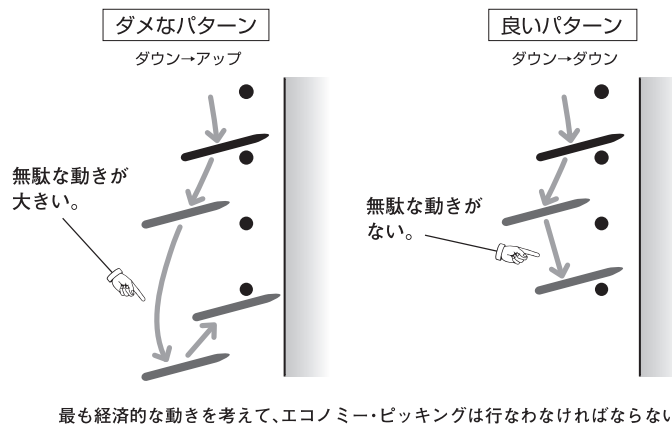
注意点1



必ず3弦をダウンで弾くように組み立てよう

エコノミー・ピッキングを弾く際には、常に“最も経済的な流れ”を考える必要がある。このフレーズの1小節目では、3弦16フレット→2弦17フレット→1弦15フレットの3音をダウン1回で弾くことが最も経済的だ。そのためには、毎回3弦をダウンで弾くように組み立てれば良い。この流れを考えると、1小節目の最後の3弦16フレットはダウンで終わる。そして、次の小節のアタマはアップとなるはず……だが、譜例のピッキング指定はダウンとなっている。普通に考えれば、アップで弾いた方が流れる的にスムーズに感じるのだが、実は経済的ではない(図1)。弦をまたいだとしても、小節の最初の音はダウンで弾くのが、最も経済的なのだ。またダウンから入ることで、リズムが取りやすくなり正確性も上がる。

図1 スムーズなエコノミー・ピッキング

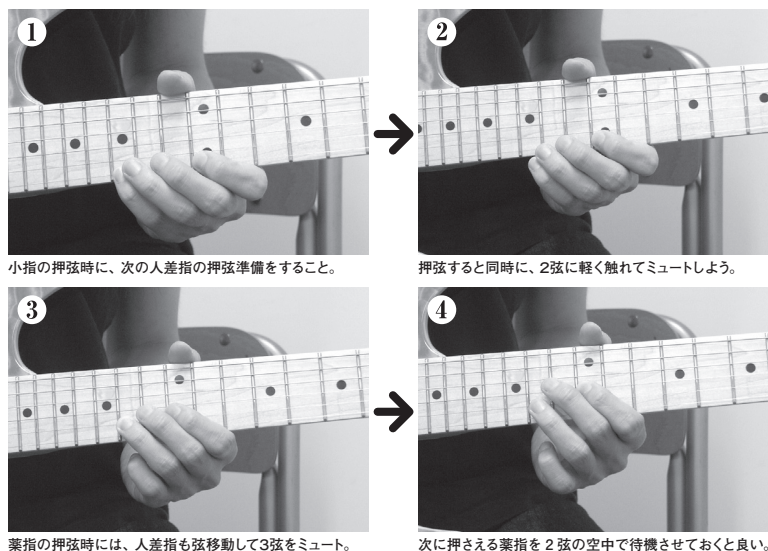


注意点2



常に次の弦移動とミュートを意識しよう

このフレーズを弾く時には、ミュートにも注意してほしい。例えば3小節目1拍目の1弦12フレットを押弦した際には、人差指の指先で2弦に軽く触れ、2弦のミュートをしておくことが大切だ(写真②)。同様に2弦14フレットの押弦時には、人差指で3弦をミュートしよう(写真③)。次の3弦12フレットの押弦時には、2弦上に薬指を待機させると同時にミュートを行なうと良い(写真④)。このように、常に次の弦移動とミュートを考えながら左手の流れを練習してもらいたい。そして、その左手の押弦と右手のピッキングのタイミングが、ピッタリと合うように意識しながら弾こう。トライアドの形を覚えておくと、エコノミー・ピッキングのスピードに左手が付いていくことができるのでオススメです。



～コラム19～

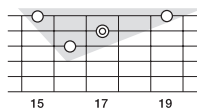
地獄の戯れ言

このフレーズで使われている3本弦のトライアド・フォームは3つある(図2)。1つ目はマイナー・トライアド、2つ目はメジャー・トライアド、3つ目がマイナー・フラット5thまたはディミニッシュと呼ばれるものだ。これらは、ロック・ギターの基本中の基本となっているので、自分の知っているギタリストが、これらのトライアドをどう使っているのか調べてみよう。また、これらは2弦の音がルート音になっているので、その音を中心にいろんなコード進行に合わせて、自由にフレーズを作ることができる。耳コピにも役立つので、自分でフレーズを作ってみてほしい。

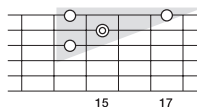
ロック・ギターの基本!?
3本弦トライアド・フォーム

図2 3本弦トライアド・フォーム

Emトライアド



Dメジャー・トライアド



C#m(b5)トライアド

